

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 4年 12月 15日

事業所名 放課後等デイサービス リアン府中白糸台

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	0	全てのお子さまに目が行き届くよう、1フロアでの活動を基本としておりますが、クールダウンが必要なお子様のために個別対応のお部屋も確保しております。	厚生労働省令の定める基準を満たしていますが、安全には十分配慮して支援をしております。
	2	職員の配置数は適切である	2	3	2	外出時は職員を増員して対応しております。	厚生労働省令の定める基準を満たしていますが、今後もきめ細かな支援に努めてまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	2	2		水道設備設置の都合上、やむを得ず段差が生じた部分がありますが、お子様の安全には十分配慮してまいります。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	4	0	全職員が、個別の支援目標や課題を業務日誌・個人ファイルで確認できるようにしています。	業務前ミーティングを行い、職員間で意見交換をしています。送迎の都合上、全職員が集まることが出来ない場合もありますが、業務日誌に、意見や気づきを記入し、共有するようにしています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2	0		保護者には評価表にご記入いただき、ご意見をもとに、業務の改善を図ってまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	1	0	ホームページにて公表しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	4		現在のところ、第三者評価を行っていませんが、今後検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1	1	虐待防止研修に出席した職員による伝達講習を行っています。 今年度より業務全般に関わる動画研修を導入し、職員全体のスキルアップを図っております。	虐待研修の他、支援方法についての研修についても、受講者から全職員へ伝達・共有してまいります。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	3	0		6ヶ月に1度の保護者面談を通して、変化するニーズや課題の把握に努め、計画に取り入れるようにしています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3	1		現在、事業所独自のアセスメント票を使用していますが、今後も見直しを重ねながら、状況把握に努めてまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	4	0	職員間で意見を出し合いながら立案しています。	プログラムの進め方については、業務前ミーティングの中で決定しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	2	0	学生ボランティアさんによる人形劇や、ヨガ、リトミックなど、新たに外部講師に依頼し多様なプログラムを取り入れています。	お子さまの特性などに応じて、プログラムの内容を柔軟に見直していくようにしています。

適切な支援の提供	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	2	0	休日は、公園や屋内施設、外食・お買い物体験などの、外出活動も取り入れています。	休日・長期休暇は、おでかけなど体験型の活動が多くなります。平日には見えづらい課題に気づけるよう観察してまいります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	3	0	個別活動と集団活動、動静交えた活動により、お子様の情緒の安定を図っており、計画にも盛り込んでいます。	個別サポート・集団としてのサポートの両面の視点で、支援に反映させていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	4	0		支援開始前の打ち合わせを実施し、保護者や学校からの申し送り等も含め、職員へ周知しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	4	0		送迎業務もあり、支援終了後に全職員が集まるのは難しいですが、できる限り、振り返りと意見交換の時間を確保し、翌日の支援開始前には全職員で共有するようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	0		毎回、支援の内容について、業務日報・個人記録に残しています。記録は全職員が目を通し、支援の改善へ向けて、意見交換しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	3	0	6ヶ月ごとに支援会議を実施し、目標の達成度や課題について意見交換しています。	6ヶ月ごとの保護者との面談及び職員間の支援会議を経て、必要であれば計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	2	0		今後も、自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、余暇の提供などを中心に、多様な活動を設定し支援を行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2	0		今後も、そのお子様に最も関わりの深い担当者が参画してまいります。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	1	0		学校とは日頃から連携をとり、情報共有しており、今後も継続してまいります。また、学校の先生に、活動中のお子様の様子を参観していただくこともございます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	2		現在医療的ケアが必要なお子さまは不在ですが、当該のお子さまが通所される際には、主治医等との連絡体制を整えてまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	1		通所開始前に、情報提供いただいています。今後も必要に応じて、情報共有に努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	1	3		現在のところ、機会は設けておりませんが、今後、移行先の事業所より要請があれば、情報提供してまいります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	2		現在のところ、機会は設けておりませんが、今後必要があれば、助言をいただくなどの連携を進めてまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	3	2		今後も、地域行事への参加、遊戯施設等の利用により、障がいのない子どもとの交流の場を設けてまいります。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	5	0		府中市では、放課後等デイサービス事業所からの参加はありませんが、必要であれば検討してまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	6	1	0		今後も、保護者様とは密に連絡をとり、お子様の少しの変化にも対応できるよう態勢を整えてまいります。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	2	2		事業所としてのお子様への対応についての考えや意見を申し上げることはありますが、ペアレント・トレーニング等は、現在のところ実施していません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0		ご契約時にご説明申し上げておりますが、ご不明な点に関しては、その都度ご質問をお受けしております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	3	0		現在のところ、子育てに関するご相談はいただいておりますが、今後必要があれば、対応してまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	3		現在のところ、保護者会等の開催はしてませんが、法人全体での夏祭りを実施するなど、交流を図っております。（コロナ対応のため2020～2022年度の夏祭りは中止）
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	苦情解決へ向けてのフローチャートを事業所に掲示しております。	苦情対応の体制は整えております。また、苦情をいただいた際は、全職員へ周知し、迅速に改善を図っております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	0		月ごとに活動予定表と活動概要を保護者様へお渡しし、お知らせしています。よりわかりやすい記載を心がけてまいります。
	35	個人情報に十分注意している	7	0	0		個人情報利用同意書に基づき、細心の注意を払って利用させていただいております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0		お子様の特性に応じて、わかりやすいお伝えの仕方を工夫しております。保護者様に対しても同様です。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	3		現在のところ行っておりませんが、今後行う場合はご利用のお子様の個人情報には十分注意して企画してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	0		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しております。（閲覧可）
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	0	年2回、立川防災館へ出かけ、防災意識の向上を図っています。	月に1度、お子様と職員による避難訓練(地震対応・火災対応・不審者対応)を実施し、振り返りを行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1	0		虐待防止研修を受講し、事業所内で伝達講習を行っています。また、虐待防止委員会を発足し、虐待が疑われるような事案がないか定期的にチェックしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0		利用児童の安全確保のためにやむを得ないケースに限り、一時的に身体を押さえる、腕を掴むなどを行うことがある旨を、保護者様へのご説明とともに放課後等デイサービス計画へ記載しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3	0		現在食物アレルギーのあるお子さんは不在ですが、当該のお子様が通所される際には、医師の指示書に基づき対応させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	1	0	事例については法人全体で共有し、再発防止に努めています。	ヒヤリハット事例集を作成し全職員で共有しています。今後も安全管理に努めてまいります。